

成果の説明書

(氏名) 佐藤 徹	(学部) 地域政策学部
1 重要事項 A. 教育 (1) 政策科学（前期） 政策科学の登場と歴史的背景、政策分析の手法に加え、できるかぎり具体的なテーマや事例を数多く取り上げ、政策科学の意義と本質について受講生自身が考えるように工夫した。 (2) 行政学（前期） 行政学の基礎理論を修得するとともに、現実の行政にも関心が持てるように講じた。受講生がすすんで発言しやすい環境づくりにつとめ、双方向型の授業となるように工夫した。 (3) 基礎演習（後期） ゼミ生全員で行政学・公共政策・地方自治に関する基本書をもとに、基礎的知識の修得をめざした。単なる輪読ではなく、ワールド・カフェ方式によるグループ討論をおこなった。また、ゼミ生どうしの親睦や交流を深めることに努めた。 (4) 政策評価論（後期） 政策評価に関する基礎理論について講じるとともに、政府および自治体における政策評価の最新動向や具体例を取り上げながら、受講生が政策を評価する際の視角や能力を養えるように努めた。 (5) 演習Ⅰ（通年） ゼミ生たちが議論を通じて共通の研究テーマを探索・検討するとともに、関連文献・資料の調査を行い、収集した情報の整理分析に取り組めるよう指導した。DX（デジタル・トランスフォーメーション）の先進自治体の一つである群馬県庁への訪問調査を行い、学生たちがDXへの理解を深められるようにした。 (6) 演習Ⅱ（通年）・卒論指導 ゼミ生たちが先行研究の検討整理や自治体へのインタビュー調査等を行ったり、アンケート調査結果をもとに統計分析を行ったりして、各人のテーマに沿った質の高い卒業論文が執筆できるよう指導した。 (7) 政策評価特論（大学院） 政策評価に関する理論と実際についてバランスよく講じるとともに、受講生の理解がさらに深まるよう、議論を重視した授業を展開した。 (8) 政策評価特論演習（大学院） 学術論文の執筆方法について講じた上で、質問紙調査の設計、データ分析、論文執筆等について指導した。 B. 研究 (1) 著書・論文等 ・ コロナ禍における職員養成・政策立案（特集 コロナ禍：自治体・新年度の展望）、単著、『月刊ガバナンス』第240巻、2021年4月、pp.26-28、ぎょうせい ・ 公共施設の複合化における市民参加とまちづくりー埼玉県上尾市上平地区複合施設基本構想策定を事例として、単著、『地域政策研究』第24巻第1号、2021年9月、pp.1-21、高崎経済大学地域政策学会 ・ 行政計画の実効性とエビデンス・評価（特集 コロナ禍の自治体計画）、単著、『月	

刊ガバナンス』第246巻、2021年10月、pp.23-25、ぎょうせい

- ・ EBPM の推進はまずロジックモデルの構築から始めよう、単著、『政策情報誌 Think-ing』第23巻、2022年3月、pp.53-59、彩の国さいたま人づくり広域連合

(2) 学会報告

- ・ まちづくりワークショップにおける参加者の意識・意見・行動の変容分析—メゾレベルにおける研究デザイン、日本地域政策学会 2021 年度第 20 回全国研究大会、2021 年 6 月 19 日、オンライン開催
- ・ EBPM にはまずロジックモデルの構築から、分科会「自治体政策と EBPM—政策と科学の連携」、自治体学会、2021 年 8 月 22 日、オンライン開催、招待講演
- ・ 自治体行政における EBPM の推進、日本オペレーションズ・リサーチ学会第 55 回「意思決定法」研究部会、2021 年 9 月 24 日、オンライン開催、招待講演

(3) 学会活動

- ・ 日本行政学会の年報委員会委員、日本評価学会の理事、日本協働政策学会の理事。各種学会の論文査読などを多数おこなった。
- ・ 日本地域政策学会のプロジェクト研究『地域を変える話し合いについての多層的研究』を推進した。

(4) その他

- ・ 地域科学研究所プロジェクト「地方都市中心市街地研究—人口減少時代におけるまちづくり—」「現代の地域におけるリーダーシップのあり方の研究」

C. 社会貢献

(1) 公職

- ・ 内閣府本府：政策評価有識者懇談会委員（2021 年 5 月～現在）
- ・ 群馬県：行財政改革評価・推進委員会委員長（2010 年 9 月～現在）
- ・ 千葉県：総合計画の政策評価に関する有識者懇談会委員（2010 年 4 月～2022 年 3 月）
- ・ 岩手県北上市：総合計画の策定に関する助言者
- ・ 埼玉県戸田市：外部評価委員会委員長（2011 年 9 月～現在）
- ・ 埼玉県桶川市：協働審議会会長（2011 年 9 月～現在）
- ・ 埼玉県上尾市：地域創生総合戦略審議会会長（2015 年 9 月～現在）
- ・ 環境省環境研究総合推進費「ローカル SDGs 推進による地域課題の解決に関する研究」アドバイザー

(2) 招待講演・研修講師等

- ・ 2021 年 7 月 16 日、講演「持続可能な自治体経営のためのヒント～ロジックモデルを活用したエビデンスに基づく政策とは～」(第5回市町村事例共有会)、一般社団法人 ふくしま連携復興センター、協力：復興庁福島復興局
- ・ 2021 年 7 月 17 日、講演「自治体におけるロジックモデルを活用した政策評価の効用」、地域医療計画評価ネットワーク (RH-PLANET)
- ・ 2021 年 10 月 21 日、研修講師「EBPM とロジックモデルの構築」(講義・演習)、足立区政策経営課
- ・ 2021 年 11 月 4 日・5 日、研修講師「エビデンスに基づく自治体政策」(講義・演習)、東毛 4 市 (桐生市・太田市・みどり市・館林市) 合同研修
- ・ 2021 年 11 月 11 日・12 日、研修講師「政策評価演習」(講義・演習)、岐阜県

職員研修所

- ・ 2021 年 12 月 16 日、講演「エビデンスに基づく政策立案とは」、長崎市
- ・ 2022 年 1 月 20 日、研修講師「職員研修の企画と実践・政策形成研修（講義・演習）」、市町村職員中央研修所
- ・ 2022 年 1 月 21 日、講演「地方公共団体における行政評価・政策評価の現状と課題」（政策評価に関する統一研修）、総務省
- ・ 2022 年 3 月 28 日・29 日、研修講師「エビデンスに基づく政策立案」（講義・演習）、市原市（千葉県）

D. 学内業務

- ・ キャリア支援センター長をはじめとして各種業務を積極的に推進した。

2 その他の事項

- ・ 2021 年 10 月 29 日、第 6 回公務員志望者のためのレクチャーミーティングを開催した。コロナ禍のため、Zoom によるオンライン開催とした。現職の自治体職員 3 名を講師として招聘し、「定期的に部署が変わることの苦勞」「地域の人とのつながり」「女性のキャリア形成」「仕事と子育ての両立」「コロナ禍の対応」について講話をいただき、参加した学生たちと質疑応答をおこなった。
- ・ 代表をつとめる自治体政策経営研究会において、ロジックモデル研究ユニットを立ち上げた。学習会をオンラインにて開催し、全国各地から自治体職員約 50 名が参集した。

3 次年度以降の計画・抱負

EBPM 研究のさらなる推進と論文執筆に向けて精力的に取り組みたい。また、学部及び大学院における教育指導に、より一層、注力したい。